



大森六中だより

令和5年 6月号
大田区立大森第六中学校
統括校長 菅野 哲郎
TEL 3726-7155

六中だよりはHPからも
ご覧いただけます。



#六中の歓喜

5月27日(土)晴れ渡る空の下で第77回運動会が開催できました。今回は保護者の人数制限無く、来賓もお招きして実施しました。

その甲斐あって多くの温かい声援を受けて、生徒は皆、力の限り競技し、応援し、係の仕事に奮闘する姿を見せてくれました。

今年度は午前中に50m走、100m走、障害物競争、全員リレーを行い、午後には初めに、来校した小学生が紅白に分かれて、3年生が背負う籠への玉入れを実施し、その後、大縄跳び、選抜学級対抗リレーを行いました。

ところで、今年のスローガンは「#六中の歓喜」です。「歓喜」とはどちらの漢字も「よろこぶ」と読み、とてもよろこぶ様子を表しています。また、六中はSDGsに取り組んでいる学校ですから、その理念である「誰一人取り残さない」という精神と合わせて、運動が得意な生徒はもちろん、運動が苦手な生徒も含めてすべての生徒が喜べる運動会にしよう、そして、そのためには結果よりもお互いの努力を称えようと開会式で呼び掛けました。

運動会後に発行された学年通信や学級通信の中に掲載された生徒の作文に目をおすと、入賞したクラスの生徒は素直に喜びを表現するとともに、惜しくも入賞を逃したクラスの生徒も、練習から本番まで力を合わせたことでクラスの絆が深まり、充実感を得ていることが伺えました。

また、係生徒が各競技の円滑な進行のために、与えられた役割を責任もって果たそうとする姿勢が頼もしく、そのため午前、午後ともに予定よりかなり早く進行することができました。

この成果を広く喧伝(＃)したいと思います。

当日朝早くからお越しいただき、また最後まで参観いただいた保護者の方々、ご来賓の方々に改めて感謝申し上げます。

開校記念講演会

6月12日は本校の開校記念日です。この日には毎年有識者を招いて講演会を実施しています。今年度はシビックアクションでご指導いただいている森朋子先生(東京都市大学環境学部環境経営システム科准教授)に「未来を創造する力」という演題でスライドや動画を用いてお話しいただきました。

VUCAの社会となっている今、求められるのは社会全体のHappyを考えつつ、自分で目標と筋道を立てて、社会をより良いものに創り変える人。そのためには、社会のいろいろな問題に関心を持ち、社会問題の解決に向けてがんばっている人や団体を見つけたら、できる範囲で応援する。経験は何より大事であり、学校や地域でいろんな人と関わる活動に参加してみようというメッセージをいただき、生徒は熱い拍手で応えるとともに、事後の感想文には、社会に変化を起こす意気込みが表れていました。

持続可能な社会の担い手づくり

大田区立大森第六中学校 研修ユネスコ委員会

6月のシビック・アクション

12日(月)5校時のシビック・アクションは、1から3年までの縦割り59の小グループに分かれて、同じテーマを持ったもの同志で集まり、課題解決のためのアクションについて、グループワークを行いました。初めての顔合わせで、話し合いをうまく始めることが厳しかったことを察した、講師・森先生のすばらしいアドバイスで、自己紹介に「好きな食べ物」を加えるところから始まり、少しでも緊張感が緩みました。まずはアクション案を出し合い、その中で「アクションで重視すること、達成したいこと」を抽出し、自分たちの行いたいアクションの順位を決める、ということまでで、終了しました。めまぐるしい展開でおそらくほとんどの生徒が、もやもやした気持ちで終わりました。

開校記念講演会

6月12日(月)は開校記念日で、日頃シビック・アクションでお世話になっている東京都市大学准教授森朋子氏を講師として、お迎えました。

題目は「未来を創造する力」で、まさに、シビック・アクションで学習している内容で、なぜ今の学びが必要なかを、わかりやすくお話いただき、先ほどの時間でもやもやした気持ちが一気に晴れたわかりやすい講演会でした。生徒の感想を掲載します。
3年男子「僕は今回の講演会を通してたくさんのことを学べたが、一番印象に残ったのは「本当の変化、永遠に残る変化は少しずつ実現していくものです。」という言葉だ。この言葉は、ルース・ベイダー・ギンズバーグさんの名言で、変化を恐れる人に勇気を与える言葉だ。僕は、この言葉を聞いて、変化は怖いものだけど、その変化を誰かがきっかけとなって始めないと何も始まらないのだなと思った。そして、そのような勇気がある人が「リーダー」になれるのだなとわかった。僕はそのような勇気が持てるかわからない。ただ、今日聞いたように、リーダーのフォロワーという立場として行動するこ

となら僕でもできそうだなと感じた。そういう意味で、今回の講演会は様々な気付きだけでなく、なにかのアクションのスタート地点として有意義になったと思う。このような貴重な機会をくださった森先生、本日は本当にありがとうございました。この講演会を、これからの活動に生かしていきたいです。」

3年男子「僕が今回この講演会を聴いて一番心に残った言葉は、「ムカついた情報は忘れる

な!」、「経験が大切」だ。他にも、たくさんのありがたい話を聴けた。VUCAの時代の話、社会全体のHAPPY、変動性、不確実性、トランジション(社会の仕組みやルールそのものを変えていくこと)、平等VS公平、システムチェンジ&ゲームチェンジ&トランジション、「科学・技術、政策・ルール、社会・文化、市場・消費者」、責任帰属認知、経験度・満足度、社会的規範評価、対処有効性認知・自己影響に対する効力感、日本人はなかなか弱い、国民病、経験、できるだけ多くの人の共感を得るような方法を考えよう応援してくれる人を大切に、ムカついたニュースは忘れるな、経験大切...。今日聴いたことのメモに書かれている単語や言葉をこのアンケートに走らせてみたが、とても簡単に理解することはできず、「いかに深い話を聴けたのか、なんと素晴らしい時間だったのか、」と思う。今日の話聴けたから、次のシビック・アクションにつなげることができると思う。他にも、挿絵(燃えているやつ)なども個人的に可愛かったです(笑)この講義のはじめに、「こんな機会はずっと無い」と仰っていたが、まさにその通りだと思う。本日は、本当に貴重なお時間とお話をありがとうございました!」他にも掲載したい感想がたくさんありました。確実に六中生の思考と創造力がときめいた時間でした。



令和5年度 運動会

5月27日(土)、運動会が開催されました。コロナ禍を経て、数年ぶりに通常通りの運動会を行うことができました。今年度のスローガンは「#六中の歓喜」です。「#」には、拡散されるように、という意味が込められています。生徒たちは勿論、保護者の方、地域の方々にも喜びが広がったことでしょう。運動会を通して強まったクラスの団結力を、これからも大事にしてください。



晴天



リレーにも熱が入ります



表彰式



美術部制作の旗



開会式



50m走



事前に係会で打ち合わせを重ね、当日は各係のおかげでスムーズな進行ができました



障害物走



大盛り上がり



お昼のお弁当タイム



会場準備・片付けでは3年生が大活躍しました



学年別リレー



円陣を組む生徒たち



縄は友達

結果発表

優勝	1100学級	2100学級	3300学級
準優勝	1200学級	2300学級	3100学級
縄は友達	第1位	3100学級	75回
	第2位	3400学級	74回
	第3位	2300学級	67回